

PROGRAM

サウンド・ザ・ベルズ／ジョン・ウイリアムズ
Sound the Bells! / John Williams

シンフォニックバンドのための序曲／兼田 敏
Overture for Symphonic Band / Bin Kaneda

鐘の歌～フリードリヒ・シラーの詩にもとづく～／フィリップ・スパーク
The Song of The Bell / Philip Sparke

エターナル／ヨープ・ヴァンディク
Eternal / Joop van Dijk

———— intermission ————

シンフォニック・ダンス第3番「フィエスタ」／クリフトン・ウイリアムズ
Symphonic Poem Dance No. 3 "Fiesta" / Clifton Williams

祈りとトッカータ／ジェームズ・バーンス
Invocation and Toccata / James Barnes

交響曲 第4番／アルフレッド・リード
Symphony No.4 / Alfred Reed

タッド・ウインドシンフォニー TAD WIND SYMPHONY

タッド・ウインドシンフォニーは、従来の慣例に捕らわれない新しい吹奏楽の響きを求めて、米ネバダ州立大学ラスベガス校教授であった鈴木孝佳氏を招き 1992 年に結成したシンフォニック・ウインドオーケストラ。メンバーはオーケストラや吹奏楽で活躍中の演奏家によって構成されている。音楽監督である鈴木氏の斬新なアナリーゼによる音楽表現と、タッドの持つ重厚かつ新鮮なサウンドは、これまでに開催されたコンサートや CD リリース等によって、国内はもとより米国においても高い評価を得ている。

2007 年よりリリースしている CD 「タッド・ウインド・コンサート」シリーズは、各国放送局で取り上げられたほか、すべての CD が米メリーランド州にある A.B.A. リサーチ・センターのアーカイブ・コレクションに選定され、広く一般に公開されている。

鈴木孝佳（音楽監督・指揮） Takayoshi "TAD" Suzuki

福岡県に生まれる。東京コンセルヴァトワール尚美（現・尚美ミュージックカレッジ専門学校）および東京藝術大学でトロンボーンを専攻し、伊藤 清、ヘルマン・エンディヴァルト（ベルリン音楽院教授）の両氏に師事。指揮法を小林研一郎、汐澤安彦の両氏に学び、レナード・バーンスタインやアンドレ・プレヴィンの門も叩く。在京オーケストラ等での演奏活動の後、指揮者、指導者の道を歩み、福岡工業大学附属高校（現・福岡工業大学附属城東高校）吹奏楽部を率いた全日本吹奏楽コンクールでの活躍や、英米における演奏は今も語り草。退任後、アメリカより乞われ、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校客員教授となり、その後、2011 年 5 月退任までの 15 年間、ネバダ大学ラスベガス校大学院教授として教鞭をとる。推挙により日本人初の A.B.A. (American Bandmasters Association) 正会員。ニューヨークの“ザ・ユナイテッド・プラス”、東京の“タッド・ウインドシンフォニー”の音楽監督、指揮をつとめ、国内外各レーベルから多数の CD をリリース。国内外から委ねられる数多くの初演を手がけるなど、ウインド・ミュージックの世界でもっとも影響力のある指揮者の一人である。